

NPO活動推進自治体フォーラム 佐賀大会

第1分科会報告

第1分科会

NPOと行政の契約積算から精算まで

～その積算の根拠は何ですか？～NPOと行政の協働を実務面から考える～

報告者：水谷 綾

（社会福祉法人大阪ボランティア協会）

コーディネーター：

水谷 綾（社会福祉法人大阪ボランティア協会）

<事例報告・発表者>

行政からNPOへの委託事業の積算に関する提言

愛知県社会活動推進課：神原 義治

契約の分析と積算根拠の標準モデルの可能性

特定非営利活動法人市民社会研究所：松井 真理子

第1分科会

NPOと行政の契約積算から精算まで

[主要な課題]

- < 人件費（+ ボランティア） > . . . 単価の低さ（全般的）
- < 間接費 > . . . 積算がなされない
- < その他の前提周辺課題 >
 - ・ 主体選定方法、補助的委託、専門性評価、仕様内容の協議可能性
- < （会計）報告 > . . . 行政への報告とNPOの報告の整合性

第1分科会

NPOと行政の契約積算から精算まで

[解決策]

< 人件費（+ ボランティア） >

NPOの質・特徴に合わせた単価設定、対価意識の向上

< 間接費 >

積算例の公表、蓄積、共有

< その他の前提周辺課題 >

財政の情報公開と対話、仕様の協働作業、交渉力と判断

<（会計）報告 >

（このセッションとしては特になし）

第1分科会

NPOと行政の契約積算から精算まで

[参加者の明日からの第一歩]

行政

協働事業の person 費・間接経費のピックアップと確認
啓発と対話
自分の労働価値の社会的価格を考える
NPOと行政の意見交換
今日の課題を財政課と雑談
NPOとフルコストリカバリーについて話し合う
NPOの想いを他の職員に伝える
間接費について課内で議論
来年度の地域団体委託費の積算を見直す
人件費の積算再考

NPO

忘れないようブログに掲載
行政評価の外部化
来年度予算の積算基礎の算出にとりかかる
想いを伝える力（知識）をつける
日々の行動を記録して自身のコスト意識を持つ
積算方法について考えることを実践する
情報収集する
行政のNPO担当課とともに勉強する
NPOの積算根拠を出し、行政と話し合う
行政職員に今日の報告をする

NPO活動推進自治体フォーラム 佐賀大会

第2分科会報告

第2分科会

行政のNPOへの財政支援のあり方

～受け手の視点に立った効果的な財政支援のあり方～

報告者：水谷 衣里

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

コーディネーター：

田中 泰（株式会社ぎょうせい月刊ガバナンス記者）

水谷 衣里（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政策研究本部）

<コメンテーター>

渡辺 元（特定非営利活動法人市民社会創造ファンド運営委員）

山口 郁子（中央労働金庫総合企画部次長）

上土井章仁（特定非営利活動法人NPOくまもと代表理事）

第2分科会

行政のNPOへの財政支援のあり方

[現状]

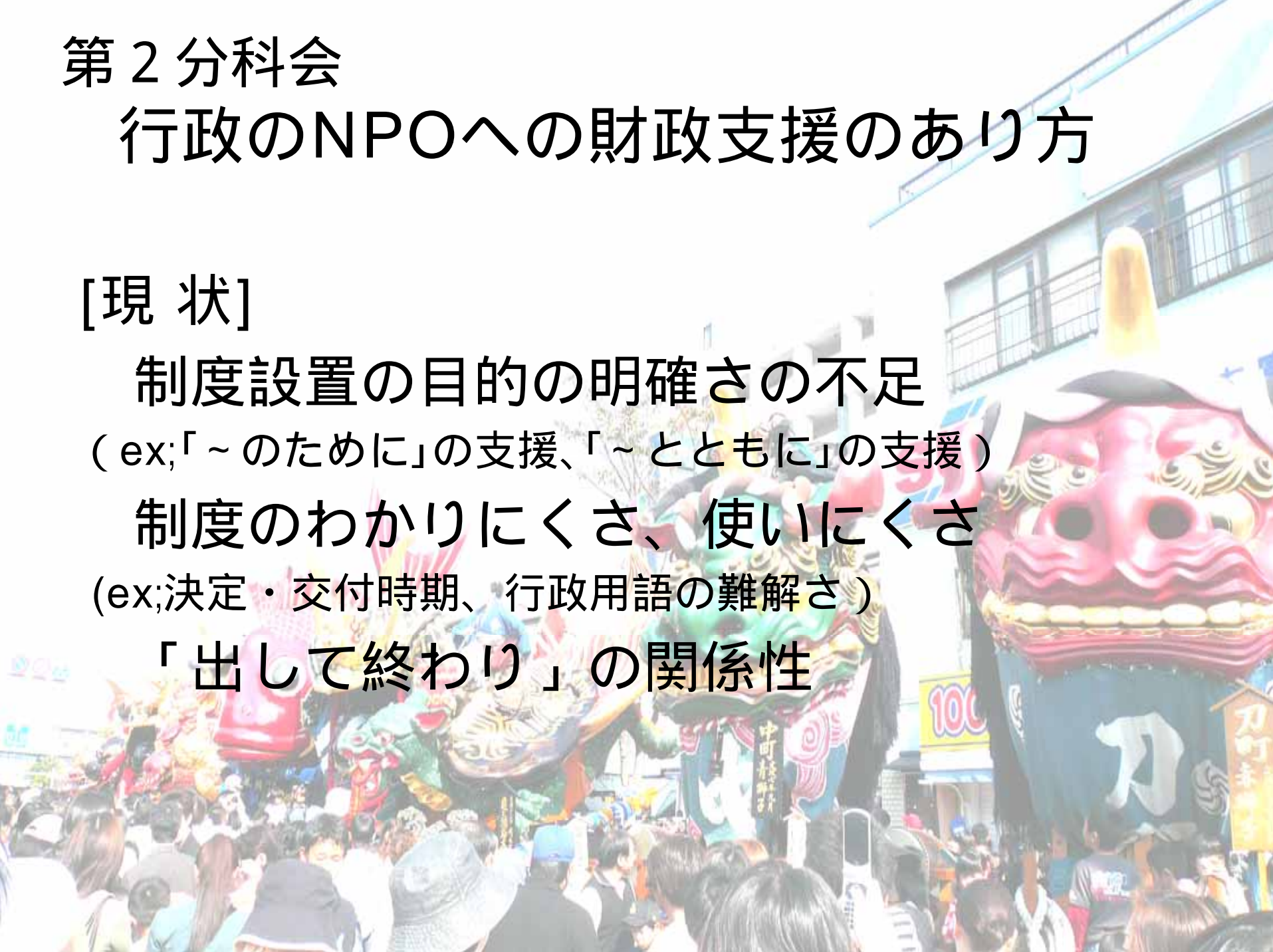
制度設置の目的の明確さの不足

(ex;「～のために」の支援、「～とともに」の支援)

制度のわかりにくさ、使いにくさ

(ex;決定・交付時期、行政用語の難解さ)

「出して終わり」の関係性



第2分科会

行政のNPOへの財政支援のあり方

[課題]

「効果の最大化」

...「使い勝手の良い仕組み」 市民にとっても・行政にとっても

「『その先』をつくる」

...地域で面的に支える仕組みをいかにつくるか

「説明責任」は支援者の裾野開拓

...住民の理解、市民団体の支援者の開拓、庁内の理解

第2分科会

行政のNPOへの財政支援のあり方

[解決策]

コミュニケーションの機会を埋め込む

(制度を磨く。ただ、力関係への配慮は必要)

支援する側の協働

(事業の『その先』を作る。資金的支援と非資金的支援)

出し手の責任(あえて)

(効果の検証、計画との相違の確認も共に、市民の判断が効く仕組みを)

NPO活動推進自治体フォーラム 佐賀大会

第3分科会報告

第3分科会

地域を真に元気にする協働とは

～市民（NPO）、企業、行政の3者の連携関係を模索する～

報告者：芹田 洋志

（特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか）

コーディネーター：

古賀 桃子（特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター代表）

< 事例報告・発表者 >

コカコーラとの協働事例（特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか）

地域の企業等との協働事例（特定非営利活動法人北九州ホームレス機構）

文化・芸術活動への支援活動（メセナ）の協働事例（株式会社佐賀銀行）

北九州環境改善、保全におけるNPO・行政との協働事例（株式会社タカミヤ）

NPOと行政、企業との協働推進施策の事例（福岡県NPO・ボランティアセンター）

第3分科会

地域を真に元気にする協働とは

地域を真に元気にする「協働」の仕方が
分からない

[現状]

なぜ、協働するのか分からない
今のスタンスから変われない

第3分科会

地域を真に元気にする協働とは

[課題]

相互の理解不足、認識不足

協働コーディネートのあり方

(コーディネートは誰が担うのか)

第3分科会

地域を真に元気にする協働とは

[解決策]

仕組みと人の両輪でコーディネート

人と人との信頼関係

お互いの歩み寄り

NPO活動推進自治体フォーラム 佐賀大会

第4分科会報告

第4分科会

協働をすすめるための行政職員の意識改革

～信頼される行政職員になるためには？～

報告者：沖本 由季
(柏市役所 市民生活部 市民活動推進課)

コーディネーター：
早瀬 昇 (社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事・事務局長)

<コメンテーター>
出丸 朝代 (元NPO室長)
山本 佳美 (特定非営利活動法人ちばMDエコネット事務局長)

第4分科会

協働をすすめるための行政職員の意識改革

[現状]

縦割り、情報を出さない、コミュニケーションをとらないなどの行政職員の既存の対応

- ・ 市民のあきらめ、無気力
- ・ 行政依存
- ・ ・ ・ ・ を招く

第4分科会

協働をすすめるための行政職員の意識改革

[課題]

よいNPOに出会えていない。

既存の組織体制にしばられる。

市民の視点で行政をみることができるか。

第4分科会

協働をすすめるための行政職員の意識改革

[解決策]

職員の自覚

行政はNPOをよく知らない

組織体制は変えられる

行政職員の意識を変えなアカン

NPO活動推進自治体フォーラム 佐賀大会

第5分科会報告

第5分科会

公共サービス改革を進めるにあたって！！

～新しい公共を創るための制度と今後の課題～

報告者：後 房雄
(特定非営利活動法人市民フォーラム21)

コーディネーター：
後 房雄 (特定非営利活動法人市民フォーラム21)

<事例報告・発表者>

足立区の市場化テスト推進戦略

東京都足立区役所：

佐賀県「提案型公共サービス改善制度（協働化テスト）」の取り組み

佐賀県庁：

行政の取り組む公共サービス改善の成果と課題

株式会社東京リーガルマインド：

第5分科会

公共サービス改革を進めるにあたって！！

[現状]

指定管理者制度、市場化テスト、協働化テストなど制度改革が進行している

事例の蓄積がまだ少ない

NPO企業の取り組みが進んでいるのに対し、NPOのシェア、存在感が小さい

第5分科会

公共サービス改革を進めるにあたって！！

[課題]

制度の設計、契約実務の改善が必要
積算方法、成果のチェックの方法

NPO側の力量、公共サービス問題へのスタンス

第5分科会

公共サービス改革を進めるにあたって！！

[解決策]

事業の成果目標の明確化（マニフェスト、政策マーケティングなど） ロジックモデルのワークショップ

行政への企業会計、フルコスト計算の導入

契約の設計と実務の蓄積（競争方式、インセンティブ、モニタリングなど）

事業型NPOへの支援システム（イギリスのチェンジアップなど）

NPO活動推進自治体フォーラム 佐賀大会

第6分科会報告

第6分科会

地縁組織と志縁組織と行政との連携・協働

～ どうして地縁組織と志縁組織と行政は協働できないのか・・・いやできるはず！！～

報告者：石田 易司
(桃山学院大学社会学部教授)

コーディネーター：
石田 易司 (桃山学院大学社会学部教授)

<事例報告・発表者>

しまなみ海道自転車モデルコースづくり事業
(特定非営利活動法人まちづくり支援えひめ)

第6分科会

地縁組織と志縁組織と行政との連携・協働

[現状]

三者の連携・協働があまりうまくいっていない。成功例が少ない。

第6分科会

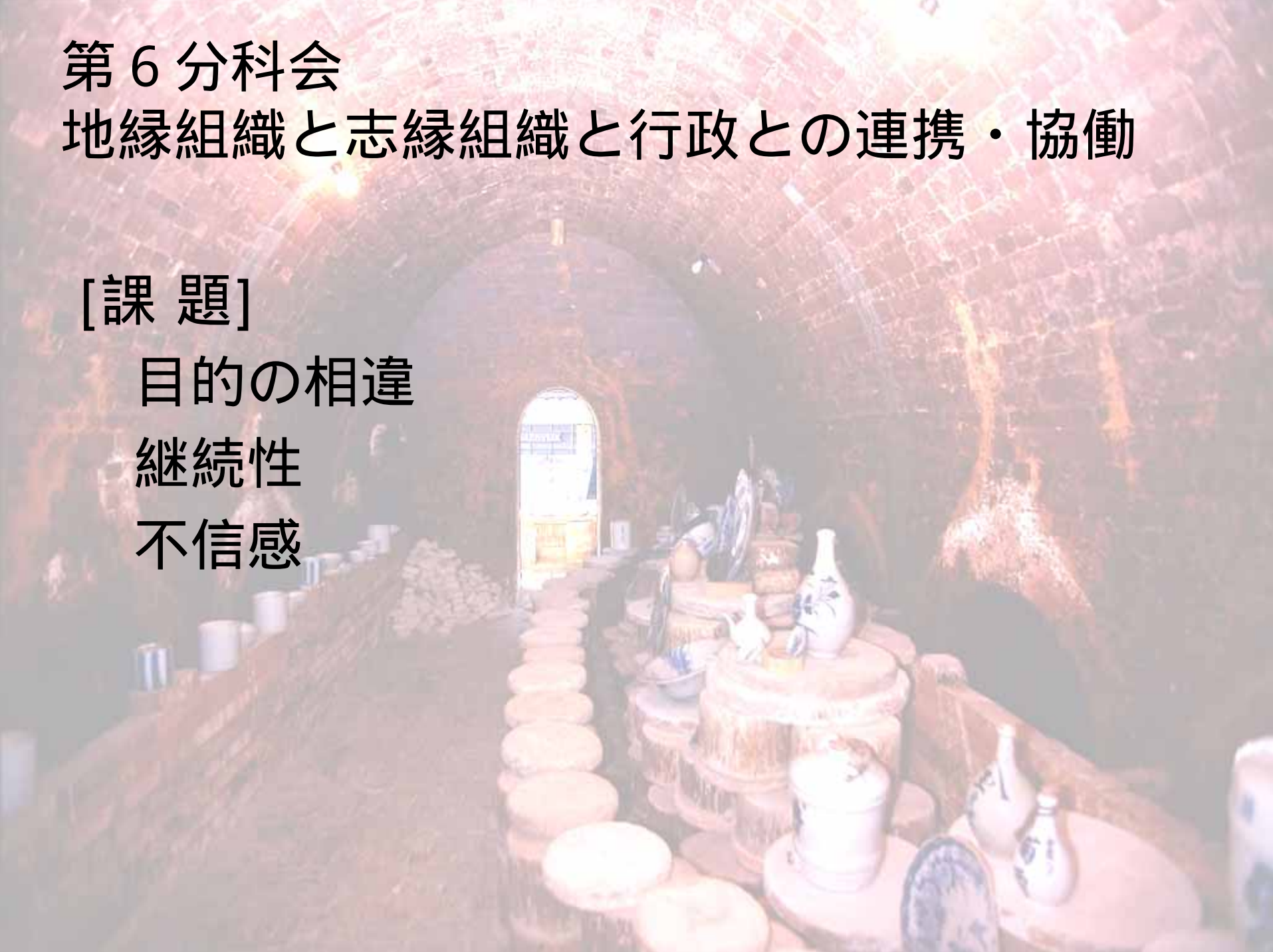
地縁組織と志縁組織と行政との連携・協働

[課題]

目的の相違

継続性

不信感



第6分科会

地縁組織と志縁組織と行政との連携・協働

[解決策] 成功の三つのカギ

目標の共有化

人、人材

発想の転換